

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,577	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		3,577	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和5年度		令和8年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			%		%		%	
温室効果ガスみなし総排出量					t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）					%		%	

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和5年度		令和8年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
原単位当たりの排出量	0.6858	t-CO ₂	0.6755	t-CO ₂	0.6815	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			1.5 %		0.6 %		%	
原単位当たりのみなし排出量					t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対基準年度）					%		%	

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和5年度の基準年度実績に対して、0.6%の削減となった。昨年度比で空調動力が7%減少、冷水が1.3%減少、蒸気が4.6%減少した。こまめな空調の運転管理を行い、来年度以降も引き続き省エネに務める。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	授業スケジュールに基づいた空調機器のスケジュール運転管理。		特に土・日・祝日は、休日施設利用予定表の提出がない場合は、照明・空調を停止した。
省エネルギー・省資源の行動の実践・排気	夏季以外はゴミ庫の排気ファンを運転時間圧縮により電気使用量を削減する。 立体駐車場の排気ファンの運転時間圧縮により電気使用量を削減する。		立体駐車場の排気ファンの運転時間を30分短縮した。
省エネルギー・省資源の行動の実践・動力	東湧水排水ポンプの配管が若干詰まっている為、ポンプの運転時間が長く効率が悪い。ポンプ・配管を更新する。		2024年7月20日に東湧水排水ポンプと配管を更新した。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	廊下照明の間引き(50%)点灯。 地下連絡通路照明の間引き。		中央監視システムで間引き(50%)を点灯を実施。地下連絡通路照明の間引きを実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	使用していない部屋の照明の消灯徹底。 中央監視システムにより、22:00に3~36階の照明を一斉消灯実施。		教職員が意識して実施している。また、中央監視システムで最終時刻に電源OFFを実施。22:00に3F~36Fの照明を一斉消灯実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	共用部分における空調温度設定の適正化(夏季26~28℃、冬季20~22℃を遵守)		中央監視システムで設定温度を一元管理し無駄のない空調管理を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	パソコンなどオフィス機器の電源OFF・省エネモードの徹底。		最終退室者は、電源OFFの確認実施。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--